

令和4年度 学校図書館活用推進校実践報告

特別支援学校における学校図書館の取組



新潟市立東特別支援学校

学校紹介



- ・ 知的発達に障がいのある児童生徒を教育の対象
- ・ 主に中央区、東区、北区、江南区、秋葉区から通学
- ・ 小学部と中学部があり、児童生徒数は約180名
- ・ 教育課程には、体育や音楽などの教科だけでなく、「各教科等を合わせた指導」として、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習もある。



図書館概要

- ・ H29年から特別支援学校に司書が配置
 - ・ R2年の改修工事で、図書館が新しい教室に移転
- ↓
- ・ 図書館が整備され、利用しやすくなった
 - ・ 蔵書冊数 5853冊 (R4.12)
 - ・ 貸出冊数 5639冊 (R4.4~R4.12)



特別支援学校にも司書が配置されている。
図書館や本をもっと活用して授業や生活を充実させたり、いろいろな本に出会い、本を楽しんだりできるようにしていきたい。

文字が読めない子もいるので、音声での支援があるといいのかな。
学級でも個人でも家でも簡単にいろいろな本にふれあうきっかけをiPadを使ってできないか。



図書館の工夫

- ・ いろいろな本の用意
(絵本、大型絵本が充実)
- ・ 絵本は手に取りやすい高さ
- ・ 視覚支援で分かりやすく
(図書館のルールをイラストで)



図書館の様子 (動画)



図書館は学びの場

本の貸し借りの仕方や図書館のマナーを学ぶ (個々の目標に応じて)

- ☆ 「かります」と司書に伝える
(言葉で・カードをタッチ)



- ☆ たくさんの本の中から好きな本を選ぶ

- ☆ かりた本を決められた場所に自分で戻す



読み聞かせ①

地域のボランティアさんによる読み聞かせ

- ・ 年2回の読書週間に実施
- ・ 地域教育コーディネーターを通じて依頼
- ・ 事前に打ち合わせを行い、図書を選定
- ・ 1学年15分 (2~3冊の読み聞かせ)



読み聞かせ②

司書による出前読み聞かせを実施 (通年)

- ・ 時間帯：朝、昼、帰りなど学年の要望に応じて
- ・ 内容：学年の実態に応じた本や、季節に関する本
初めと終わりに、手遊び



○読み聞かせが本に親しむきっかけになった。

○司書の読んだ本を図書館で見つけて開いたり、借りて楽しんだりしていた。

本を活用した授業①

本で調べよう！（司書が学習に関する本を用意）

育て方を調べよう



ひまわり えだまめ



育てたり、観察記録をつけたりしました。

魚の名前を調べよう



校外学習で水族館へ！

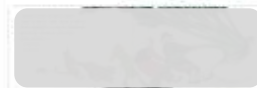


他にも、「トマト」や「季節に関するもの」などを調べる学習でも本を利用

本を活用した授業②

単元や授業の導入で絵本の読み聞かせを聞いて・・・

お話遊びをしよう



絵本



パネルシアター



いろいろな遊びへ発展

図工 作品作り



作品展で展示

本を活用した授業③ 絵本の読みきせを聞いて・・・

・宿泊学習で、宿泊のイメージがもてるようにしたり、寝る前の読み聞かせに利用したりした。（☆公共図書館からも本を取り寄せ）

・色の混ざるイメージにつながるの本の読み聞かせを聞いて、実際に2色の絵の具を選んで混ぜる活動をよりスムーズに行うことができた。

・図工で絵本をイメージしたトンネル作り→「〇年生ランドで遊ぼう」という授業で遊び場の一つとしてさらに活用



図書委員会の活動

中学部の生徒がクラスごとに交代で図書委員会の仕事を行う

おすすめの本の紹介カード作成
（図書館廊下に掲示し、小学部の児童も見られるようにしている。）




本のバーコード貼り
（バーコードを貼る場所が分かりやすいように、厚紙で型を用意）

図書館の掃除



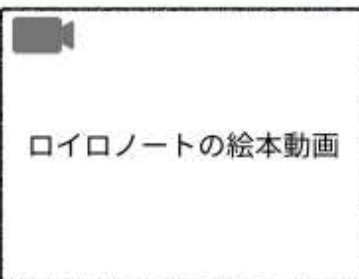
ロイロノート☆絵本の読み聞かせ動画①



学級でも個人でも家でも簡単にいろいろな本にふれあうきっかけをiPad（音声での支援）を使ってできないか。   



iPadの「ロイロノート」のアプリに、職員が絵本の読み聞かせした動画を入れる。
(著作権法第37条による取組)



ロイロノート☆絵本の読み聞かせ動画②



・大きなモニターで絵本の読み聞かせを聞く。
(順に好きなものを選ぶ。絵本に合わせて体を動かす。台詞をまねっこなど。)
・自分でiPadを操作して学校や家で聞く。

ロイロノートにある絵本は、図書館にコーナーを作って並べ、実際に本を手にとって読んだり借りたりできるようにした。

ロイロノート☆絵本の読み聞かせ動画③

その他の工夫

給食部とのコラボ（本と関係あるものが給食に登場）

読み聞かせ動画を継続的に追加

図書館だよりで家庭にもお知らせ



ロイロノートの読み聞かせ動画をきっかけに、本に興味を持ち、自分から好きな本を選んで本を楽しむ姿が増えた。

成果①

- ・ 特別支援学校にも司書が配置されたことで、図書館の整備が進んだ。
- ・ 本を授業の中で取り入れ、遊びの指導や生活単元学習、図工など学習が展開されている。司書がいることで、調べ学習の際に、テーマに沿った本をそろえる（公共図書館の本も活用）ことができ、学習でより利用されるようになった。

成果②

- ・ 図書館は、学びの場になっている。現在及び将来、公共図書館を利用できるようにマナーを知ったり、司書とやりとりして貸し借りを行ったりとそれぞれの実態や目標に応じて学ぶことができる場になっている。
- ・ 司書やロイロノートでの読み聞かせを聞くことで、本に興味をもち、自分で好きな本を選んだり、本が余暇の1つになったりしてきている。

課題

- ・ 司書が配置されてから年々冊数は増えているが、児童の発達段階や実態に応じて、様々な本を用意していく必要がある。
- ・ 校内だけでなく、他校とも情報共有をしたりして、特別支援学校ならではの授業の中で図書を使った事例をより蓄積していく必要がある。
- ・ 本に興味をもってもらえるように、今後もいろいろな方法で本の楽しさを伝えていく必要がある。